

創つくるる

vol.153

平成29年10月1日発行

島田市長ごあいさつ	1
ズームアップインタビュー	3
現場紹介	5
フリートーク	7
トピックス	8
市町イベント情報・観光スポット	11
防災日誌	12
協会だより	13



ごあいさつ



島田市長
染谷絹代氏

冒頭挨拶

今年5月に行われました島田市長選挙において、市民の皆様からの厳粛な負託を受け、2期目の市政の執行に当たらせていただくことになりました染谷絹代でございます。1期目に引き続き、島田市のために尽力できることを大変誇りに思うと同時に、改めてその責任の重さを痛感し、市民の皆様からの期待と信頼にこたえられるよう、全力を傾ける所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

また、島田建設業協会の皆様におかれましては、日頃から島田市政に対しまして御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

人口減少・超高齢社会への対応

人口減少社会の到来が危惧される中、「消滅可能性都市」の名の下、その対策を打たなければ全国の約半数にあたる自治体が消滅するという衝撃的なレポートが公表されたのは、市長就任後1年を迎えた頃でした。今でも、その時の記憶は鮮明に蘇ります。

「これまで経験したことのない急激な人口減少、超高齢社会の到来という大きな課題に、どのように歯止めをかけ、克服していくか」、今も、各自自治体で地方創生へ向けた取り組みが試されています。島田市でも、2060年に8万人の目

標人口を掲げた「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、稼げるまちの実現や、子ども子育て支援の充実、移住・定住の促進、都市イメージの確立に向けた様々な事業を展開しています。

この成果が、平成28年度の人口の社会動態（転入・転出者数の差）に結びつき、11年ぶりに75人の転入超過となりました。さらに、移住者数も県内第2位を数え、当市の総合力が発揮された結果であると思っております。この結果に満足することなく、10年先を見据え、果敢に「人口減少」に立ち向かい、総力を挙げて「稼げるまち」をつくり、強靱で「安全・安心」なまちを目指してまいります。

主要プロジェクト・稼ぐ力・挑戦する島田

さて、私は、1期目の4年間で、「新市立島田市民病院の建設」「新東名島田金谷IC周辺の開発」「旧金谷中学校跡地の利活用」といった、これまで長い間「動かなかったもの」「動かせなかつた課題」について協議、検討を重ね、各事業が動き始めるところまで努力してまいりました。そして、新たな4年間で、市民の皆様之眼に見える形にしていきたいと思います。

御承知のとおり当地域は、富士山静岡空港、新東名、国道1号などの広域交通の結節点に位置し、現在も、島田金谷バ

イパスの4車線化や金谷御前崎道路の接続に伴う菊川ICのフルインター化など大規模なインフラ事業が進められています。



こうした広域交通ネットワークの強化は、当市が大いなる飛躍を遂げる絶好の機会です。

そこで、明るい未来を切り拓き「稼ぐ力」を生み出す重点プロジェクトとして、新東名島田金谷IC周辺の開発を進めています。

そして、その核となる施設「賑わい交流拠点」を新東名高速道路と国道473号が交差する場所に開設いたします。平成31年度中のオープンに向け、J A大井川、

NEXCO中日本、大井川鐵道、当市の4者による整備を行っていきます。

具体的には、J A大井川が農林産物と海産物を販売するマルシェを、市が新東名高架下の無料駐車場を整備します。さらに、大井川鐵道に新駅を設置することで、高速道路網と鉄道、特にSLとが融合するモーターコネクトの先駆けとして、無限の可能性を秘めたエリアが誕生します。



また、県が運営する「ふじのくに茶の都ミュージアム」とともに「ふじのくに茶の都構想」の核として位置付けがされた旧金谷中学校の跡地には、民間活力の導入により空港周辺地域全体の発展につながる施設を整備し、にぎわいの相乗効果を高めていきます。

これらの事業により、大井川流域の自然環境、歴史・文化に由来する個性豊かな観光資源がさらなる輝きを放ち、人の流れに大変革をもたらすこととなります。

まちづくりに必要な視点… 選択と集中、縮充

ここで、これからのまちづくりに必要な視点について、触れたいと思います。

人口・経済が右肩上がりの時代にあつては、毎年増加する経営資源により、施策や事業を展開し、行政サービスを拡大することが可能でした。

しかし、人口減少、超高齢社会が進む今の時代には、経営資源の縮小に合わせ、真に必要な施策・事業の「選択と集中」が不可欠であり、サービスや行政活動を縮めながら充実させていく、いわゆる「縮充」という考え方が必要となります。

この考え方に基づき「財政の健全化」を進めつつ、市民の安全・安心で豊かな暮らしを守り、かつ快適な生活のためのインフラ整備を進めてまいります。さらに、このまちの10年先を見据え、経済の好循環を生み出す施策に経営資源を重点配分し、私が願う「住み続けたいまちしまだ」「訪れたいまちしまだ」の実現に向け、鋭意努力してまいります。

建設業協会へのお願い

結びに、今後のまちづくりをすすめる上で、インフラ整備は、地域の活性化、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりへと繋がる大切な事業です。関係者の御協力をいただきながら国や県等とともに連絡を密にして事業の促進が図られるように全力を注いでまいります。

地域の発展のため、島田建設業協会の皆様のますますの御理解、御協力をお願いいたします。



地方から都市へ。

情報発信力で来館者数過去最高へ。

島田市博物館 博物館総合プロデューサー **廣木 武夫氏**



～このインタビューは（一社）静岡県建設業協会とのタイアップ企画により、同協会広報誌「けんせつ静岡」NO.269でもご覧になれます。～

1992年に開館、2014年度の本館年間来場者数が約19,000人を下回った島田市博物館。しかし、2015年度には約25,000人、2016年度には約36,000人とわずか2年で倍近い来館者数を達成しました。大幅な躍進を続ける島田市博物館、その陰には創意工夫の連続がありました。さまざまな仕掛けを主導した博物館総合プロデューサー廣木武夫氏に、工夫内容、現在の取り組み、そしてこれからの目標についてお聞きしました。（聞き手・静岡県建設業協会総務・広報委員会 佐野茂樹委員長、島田建設業協会 広報委員会 梶山基委員長、山本利彦委員、原廣太郎委員）



委員 廣木プロデューサーがこちらに赴任されて、まずどのようなことをされたのでしょうか。

廣木 私がこの島田市博物館に赴任したのは、ちょうど3年前の2015年になります。開館当初54,000人いた来館者は2014年度には、年間約19,000人を下回りました。予算も厳しく、お金をかけた派手な展示ができない状況で、来館者を増やし、博物館を維持することが私のミッションでした。

私が最初に取り組んだのは聞き取り調査でした。当初3カ月の間、知人や友人、来館者に「博物館を知っていますか」、「来館したことはありませんか」、「何回来館しましたか」と尋ね続けました。すると返ってきた答えは、「知っているけど行ったことはない」、「小学校のときに1回行ったことがある」といった声が多く、中には「全く知らない」と答えた人もいました。

委員 そうした厳しい調査結果の中で、どのような取り組みを実施されたのでしょうか。

廣木 市民が入りにくいのであれば、博物館の方から歩みよることしようかと、いろいろな取り組みをスタートしました。

まずは、島田市博物館と大井川川越遺跡、分館の明治の日本家屋、海野光弘の版画記念館、昭和資料室と貴重な文化遺産が集まったこのエリアの魅力が市民の方、県外の方によく伝わっていないので、エリア名の募集を全国区で広報しました。

そして決まったのが「ヒストピア島田」です。江戸、明治、大正、昭和、平成、五つの時代が楽しめるエリアです。川越街道の江戸の風景を再現した野外ミュージアムに、

125年前の明治の日本家屋、海野光弘の版画記念館など、五つの好奇心が満たせるエリアとして確立しました。単独で存在する歴史文化をエリアとして繋げ、市民はもちろん県外の人に知ってもらおうと思ったのです。

次に、12月から3月までの間、市民の来館を無料にしました。無料期間の収入はどうするのかとさまざまな問題はありませんでしたが、スタッフの協力もあり、それらの問題はクリアすることができました。その結果、収益は減らさず、来場者数を増やすことができました。また、来館者の中身を調べたところ、初めて来た人、2回目に来た人が3割で、これまで博物館に関心の薄い人たちに来てもらうことができました。

委員 島田博物館を認知してもらうために尽力された上で、具体的にどのような方法で広報されたのでしょうか。

廣木 私の得意分野なのですが、プレスリリースを投げかけました。予算がないので、お金のかかる広告ではなく、新聞、ラジオ、テレビに記事や話題にしてみました。民放テレビ4社やNHK、3大紙、地元紙などに「今度、島田博物館ではこういったことをやります」、「市民の来館料を無料にします」、「全国から愛称を求めます」などの話題を合計10社に投げかけ、掲載してもらいました。また、「エリア名がヒストピア島田に決まりました」という結果もプレスリリースしました。そうした活動を続けることで島田博物館の認知度が高まりました。

委員 ヒストピア島田を認知させるためにメディアを活用する以外でどのようなことをされましたか。

廣木 メディアの効果はとても大きく来館者は大幅に増えました。ただ、メディアなど他人任せにするだけでなく、自分たちでも独自に情報発信できるようにホームページを新しく作り直しました。厳密には既存のホームページはありましたが、島田市のホームページを経由しないと見られなかったので、独立したホームページを作り直しました。

ホームページは情報の母艦です。母艦からSNSにつながって広がっていくためには新しいホームページの作成は必要不可欠でした。ただ、ホームページは現状更新だけ行っている状態で、とても見やすいホームページとは言えませんので改善が必要です。

以前の情報発信ツールとしてのホームページ、他の力を借りた情報発信としての各メディア、これらを合わせていかなないと、さまざまな層の人たちに伝わっていきません。そうした意味では今後の学芸員に求められるのは、学芸員の業務にプラスして、広報能力が求められると思います。

こうした情報発信に全力を注いだ結果として2016年度には「音にきこゆる」島田の刀鍛冶と天下三名槍」という好評企画もありまして、分館と合算して57,000人と開館以来最高の来館者になりました。

委員 そのような躍進を続ける中、博物館のさらなる課題は何だと思われますか。

廣木 課題は多々ありますが、まずは博物館の敷居がまだ高いこと。外国の来館者向けに表記案内が外国語になっていませんし、案内標識も小さく場所も分かりづらい。また、大井川鐵道、蓬萊橋、博物館とありますが、まだ観光名所同士の繋がりが強くないので、如何にしてさらに繋がりを強めていくかが課題となります。来館者にとつて親しみやすい博物館にするために、少ない人材の中でこれらの改善が必要です。



蓬 萊 橋

そして、これは課題というよりも挑戦なのですが、異業種交流ではなく、異業種格闘をしていきたいと思えます。例えば、俳句との格闘では、収蔵している花鳥風月が描かれた作品を見て頂き、一句作ってもらいました。また、刀剣をテーマにした若い女性に人気のゲームに乗じる形で格闘し、収蔵している刀剣のほか、御手杵の槍を含む

天下三名槍を博物館に集め、展示しました。ファッションや車など博物館とあまり交わらない分野とぶつかることで、凄まじい熱量が生まれます。その熱量を好奇心の湧き立つ革新へと転じさせ、来館者に喜ばれる企画をこれからも生み出していきます。そのためにも常にアンテナを立て、何が話題になるか、何が大きな熱量を生み出すか模索し続けたいと思えます。



島 田 市 博 物 館

そうした活動を通して、ヒストピア島田を拡大していき、最終的にどこを目指すか、考えていきたいと思えます。

委員 今後の展開はどのようにお考えですか
廣木 今まで日本人に人気の観光、旅行先と言えば西洋を中心にした海外でしたが、クールジャパンが海外で話題になり、逆に国内の観光に目が向いてきています。なので、今後の博物館として、地元の人でも県外の人でも好奇心を持てる展示、大人も子供も楽しめる展示を企画しています。

また、2020年には東京オリンピックを控えていますから、外国からの来館者を増やす絶好のチャンスです。そうした、2020年東京オリンピックに向けた仕掛けも準備しなければなりません。

博物館の集客力が島田市全体に経済効果として波及してくれば、博物館としてこれ以上嬉しいことはありません。さらに来館者を増やしていくために、地方から都市部へ向けて、情報発信、広報に今まで以上に力を入れていきたいと思えます。(一)

好評企画「音にきこゆる」のポスターと共に全員で1枚

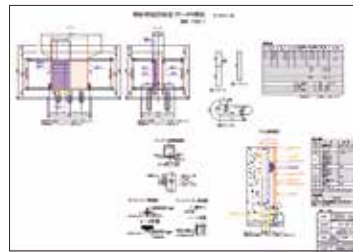
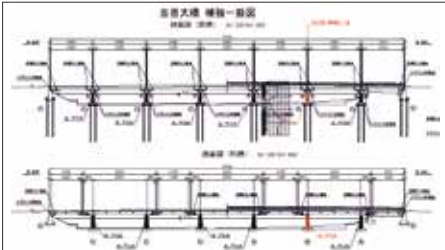


【島田市博物館ホームページ】
<http://shimahaku.jp/>

紹介

平成28年度(一)静岡焼津線防災・安全交付金(県道橋梁耐震対策)工事(当目大橋橋脚補強工) 【株式会社 橋本組】

● 工事概要 ●



工事名 平成28年度 [第28-D7317-01号] (一) 静岡焼津線防災・安全交付金(県道橋梁耐震対策)工事(当目大橋橋脚補強工)

工事箇所 焼津市浜当目地内

工期 平成28年11月7日～平成29年4月28日

施工者 株式会社 橋本組

発注者 静岡県島田土木事務所

現場代理人 杉本 佳道

工事概要 当目大橋の橋脚補強工事。仮設工(仮締切工)を行い、橋脚1基をポリマーセメントモルタルの薄層巻立てによる補強工事。

完成



工事箇所

着手前



工事のポイント



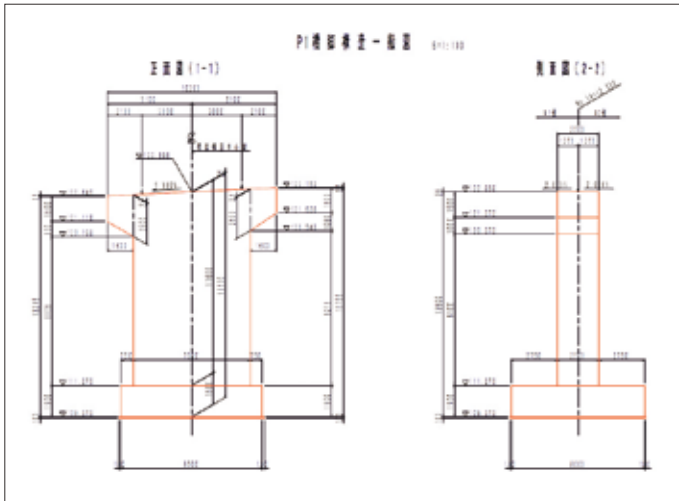
本工事は、河口から500mの場所であり、陸上・海上区域の境界地点であった。潮汐、低気圧、強風による波の遡上の影響、出水時には河川増水等の気象、海象に大きく左右される厳しい条件の施工場所であった。その為、仮設工において強固であり、止水性を高めた物でなければ、本工事(橋脚補強工事)の品質を確保し、確実な施工が困難であると考え、仮設工について重点を置き施工を行いました。自然の摂理に大変悩まされましたが、無事工事を終える事が出来ました。



現場

(国)473号道路改良(地域連携2A)地域高規格道路工事(1号橋P1橋脚工) 【池村建設株式会社】

● 工事概要 ●



工事名 (国)473号道路改良(地域連携2A)地域高規格道路工事(1号橋P1橋脚工)
工事箇所 静岡県島田市菊川地内
工期 平成27年9月30日～平成28年8月15日
施工者 池村建設(株)
発注者 静岡県島田土木事務所
主任技術者 天王沢雄之
工事概要 橋梁下部工
RC橋脚工(直接基礎)
H=13.5m、L=2.5m、W=7.0m
T形橋脚 349m³

完成



着手前

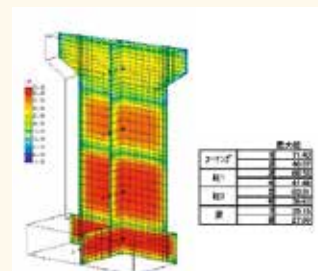


施工のポイント

当工事は、国道473号相良金谷バイパスの1号橋の橋梁下部工の施工ですので、ひび割れ防止対策に特に力を入れました。

打設計画時に、コンクリート打設後の温度上昇のシュミレーションを実施しました。温度解析結果からコンクリートの内部のひび割れ防止対策として、配合の見直し、補強鉄筋の施工位置と数量の算出をして対策しました。

また、表面のひび割れ防止対策として、特殊ネットの設置、表面保護材の塗布を実施しました。



◆コンクリート温度解析より抜粋

フリーストーク

お尻の筋肉をほぐして柔らかく

年齢を重ねると、身体が硬くなるのは自然なこと、特別にがっかりする必要はありません。身体の硬さというのは、誰にでも平等に訪れます。

股関節を柔らかくしておく方法の一つとして、一番簡単なお尻の筋肉をほぐす方法を紹介させていただきます。ほぐすのは、大臀筋です。お尻を触ってみると大きな筋肉が太ももの上についていますが、この筋肉が大臀筋です。大臀筋は走る時に脚を上げたり、後ろに蹴り出す動作の動力源です。お尻が硬くなってしまうと、股関節がうまく働かなくなり、脚の上げ下げがスムーズに出来なくなります。脚が上がらなくなったり脚に疲労を感じたら、脚を揉むのではなく、まずはお尻をストレッチして

みてください。運動前、運動後の両方で行うとより効果的です。このストレッチを行うと、大臀筋と同時にお尻の横にある中臀筋も鍛えられ、バランスもアップします。

中臀筋は股関節が傾かないように固定する重要な筋肉です。大臀筋が弱くなるとお尻がタれて、中殿筋が弱くなるとお尻が横に大きくなります。

毎日少しでもいいのでお尻の筋肉を伸ばしていきましょう。



意識の違いを体感

最近我が家の水回り一式をリフォームしました。見積に関して、素人は適正価格が分かりません。見積書を見た家族の内1人が高すぎだ!と言いましたが、水回りは本当にお金がかかります。むしろ良心的な金額でした。

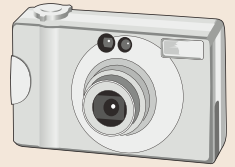
お風呂やキッチンが使えないのでストレスがたまります。工程が伸びてまたストレス。今日はもう終わり?早く次の作業に入ればいいのに!と思いますが、安定するまで次の工程に入れない工種もあります。天候に左右される場合もあります。業界的に人手不足です。職人さんはいろんな仕事を掛け持ちしています。

コンクリート部分を掘削します。音が、埃がすごいです。家の中まで埃が入ってくる!締め切ります。

熱いです。ですが現場はもっと地獄です。音が直撃します。埃がものすごく多い。マスクとゴーグルをして完全防備。その上直射日光で体力仕事。

やっとコンクリート舗装。乾くまでは車を置けません。もう大丈夫じゃないの?いえいえ、コンクリートの強度が安定するまで置けません。ヒビが入ったらせっかくの強度がなくなってしまいます。

そんなこんなで綺麗になりつつある我が家ですが、なんだかこの工程中もどかしい気持ちでいっぱいでした。今回お客さんの立場になり、発注側と受注側の意識の違いを体感しました。普段からの打合せや説明、コミュニケーションがあればこの摩擦は起きにくくなるのだろうか、と感じました。



「優れた技術力」や「地域への貢献度」などが高く評価されました。 各種表彰を多数の協会員がめでたく受賞!!

静岡県が発注した土木工事等で、優れた成績を収めた優良工事や優良技術者等の表彰式が開催され、当協会が多数受賞しました。
おめでとございました。

静岡県交通基盤部優良建設 工事部長表彰

8月18日（金）

於 クリエイト浜松

・優良工事（島田土木事務所）

大石建設(株)

大河原建設(株)

・優良技術者（島田土木事務所）

山岸浩幸 山岸建設(株)

三浦 剛 (株)丸紅

大塚貴宣 大河原建設(株)

・優良技術者（焼津漁港管理事務所）

渡邊秀樹 (株)橋本組

島田土木事務所長表彰

8月29日（火）

於 島田市金谷生きがいセンター

（夢づくり会館）

・優良工事

(株)鈴木土建、(株)原小組、

(株)グロージオ、(株)神田組、

相良建設(株)

・優良技術者

鍋田卓宏 大河原建設(株)
西澤広治 大河原建設(株)
西尾真哉 本橋建設(株)
小林 剛 (株)エコワーク
河村盛男 大石建設(株)
塩崎 久 (株)鈴木土建
杉山信行 (株)山田組
松村 亘 (株)山田組
・地域貢献
(株)エコワーク、(株)山田組

志太榛原農林事務所長表彰

8月29日（火）

於 島田市金谷生きがいセンター

（夢づくり会館）

・優良工事

三村建設(株)

・優良技術者

鈴木文昌 (株)徳山建設

・安全工事

フルカワクリエイト(株)

焼津漁港事務所長表彰

8月29日（火）

於 島田市金谷生きがいセンター

（夢づくり会館）

・優良技術者

伊藤真実 (株)橋本組

・優良技術者



くらし・環境部(公営住宅関係)

8月29日（火）

於 島田市金谷生きがいセンター

（夢づくり会館）

・優良技術者

鈴木 薫 角丸建設(株)

平成29年度静岡県優秀施工者 知事褒賞

建設現場で働く優れた建設技術・技能労働者に贈られる知事褒賞を、今年度は当協会から2名の方が受賞され9月15日（金）に開催された「建設産業構造改善推進のつどい」の席上で表彰されました。

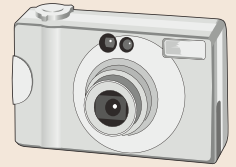
・受賞者

小林 敬司 大石建設(株)



小林 剛 (株)エコワーク





労働災害「ゼロ」を 目指して安全大会開催



建災防島田分会は、建災防島田分会は、7月4日（火）に島田市金谷生きがいセンター（夢づくり会館）において、島田労働基準監督署長や島田土木事務所長など県の事務所長を来賓としてお招きし、「平成29年度島田地区建設業労働災害防止安全大会」を開催しました。

最初に会員から募集した安全標語の優秀作品の表彰、続いて島田労働基準監督署の福島第

二方面主任監督官による「建設業における労働災害防止について」と題した講演、山本利彦防災委員長による労働災害防止研修が行われた。

そして、最後に出席者全員による安全の誓いを唱和しました。この後、島田土木事務所白石石遵太郎検査監を講師として安全講習会を併せて開催しました。



島田工業高校生の インターンシップ実施



島田工業高校建築科14名、都市工学科16名の計30名の生徒が7月24日（月）から26日（水）までの3日間、会員会社6社において、インターンシップ（建設現場実習・就業体験）を実施しました。

参加した生徒は、建築現場を見学するとともに、技術者などの指導を受け、与えられた作業を熱心に取り組んでいる様子が見えられました。

ご指導いただいた皆様にお礼申し上げます。



楽しく大井川を学ぼう！ 「川まつり」開催

島田土木事務所や島田市、藤枝市など大井川流域の市町主催による第19回大井川「川まつり」が、8月2日(水)に島田市民総合施設「プラザおおり」で開催され、児童や保護者など397名が来場されました。

子ども達は、大井川の生き物や発電の仕組み、大井川を守る



森林や飲み水など、生活とのつながりについて勉強しました。

当協会でも土木・建築委員会が、島田土木事務所と共同で笹船の作成指導や大井川の模型に流して楽しむとともに、スパーボールやキャラクターボールすくいなどで楽しみました。また、協会事業の活動の様子を写真・パネルで紹介、PR用扇子の配布など、島田建設業協会のPRに努めました。

親子現場見学会開催

子ども達に建設業に対する理解を深めてもらうことを目的として、毎年開催している「親子現場見学会」を今年は8月4日(金)に開催しました。



今年は、浜岡原子力発電所を見学しました。

最初に原子力発電の仕組みなどの概要説明を受け、その後、模型による説明の後、実際の現場を見学しました。

現場にはバスに乗って行き、原子力発電施設だけでなく、津

波対策としての防波壁など安全対策についても学びました。

見学後はバスで移動し、掛川花鳥園で昼食と施設内見学等行いました。

お世話になりました中部電力(株)社員の皆さん、丁寧なご対応ありがとうございました。





イベントカレンダー

イベントの実施・日時・会場については主催者または天候により変更する場合があります。事前に必ずご確認のうえ、お出かけください。

9/29 **吉田公園** **吉田町**
オータムフェスタ
 特設ステージイベントしずかちゃんマーケットなど
 会場：県立吉田公園
 ☎NPO法人しずかちゃん ☎0548-33-1420

10/1 **小山城楽市** **吉田町**
 会場：小山城 駐車場
 ☎吉田町商工会 ☎0548-32-3366

10/1 **大井川港つり大会** **焼津市**
 大井川港の東・北岸壁で行われるファミリー向けの大会で、毎年300名以上が参加している

10/1 **焼津港オータムフェスト** **焼津市**
 焼津港内港で開催
 地元サッポロビールの新鮮なビールやダンスイベントが楽しめる

10/6 **8** **飯淵不動尊** **焼津市**
 12年に一度の御開帳

10/7 **8** **飽波神社例祭** **藤枝市**
 3年に一度の大祭りのない年の例祭

10/8 **15** **ゴーセンカップ** **牧之原市**
 国際レディースオープンテニストーナメント2017
 会場：静波スイングビーチ
 ☎牧之原国際女子オープンテニス実行委員会 ☎054-278-2056 FAX 054-278-2067

10/15 **家山八幡宮秋の祭典** **島田市**
 野守の池の北側に鎮座する家山八幡宮で毎年10月第2日曜日に行われる例大祭では、子供からお年寄りまでが一同に集い勇壮な山車にお囃子で市内を練り歩きます。
 ☎島田市観光協会 ☎0547-46-2844

10/15 **10/31** **寸又峡温泉** **川根本町**
和紙のあかり展
 和紙を使ったあかり作品を旅館のロビーや玄関先、歩道の両側に設置し、温泉街の夜を幽玄の空間として、優しいあかりで演出します
 ☎川根本町まちづくり観光協会 ☎0547-59-2746

10/中旬 **上小杉八幡宮の神相撲と流鏑馬** **焼津市**
 神相撲と流鏑馬が行われる
 神相撲は満一才の男の子同士が親の介添えて相撲をとる神事です

大井川流域の観光と鉄道のノスタルジックな魅力を満喫しよう
10/中旬 **SLフェスタ** **島田市**
 SLフェスタは、大井川流域の市町が連携して地域資源を活かした交流事業を展開し、本物の鉄道を満喫できるイベントです。期間内には地元物産の販売や地域の人気グルメを集めたフードコートをもうけて、地域の魅力を発信します。
 ☎島田市観光協会 ☎0547-46-2844

10/中旬 **おせん女踊り** **島田市**
 江戸時代からの伝統芸能。器量のよい「おせん」を表現した踊りであるといわれています。男性が女装して踊るさまが見ものです。
 会場：天王神社（島田市阪本3443）他
 ☎島田市観光協会 ☎0547-46-2844

10/中旬 **ばらの丘フェスティバル** **島田市**
 広さ約6000坪の園内には、趣向を凝らしたバラ庭園と大温室があり、バラ約360種、8700株が咲き誇ります。
 ☎島田市ばらの丘公園 ☎0547-37-0505

10/21 **第14回高尾特別公演** **牧之原市**
朝倉さやライブ&スウィング・スローブコンサート
 第1部 スウィング・スローブ コンサート（地元楽団）第2部 朝倉さや ライブ（民謡日本一！テレビでおなじみ山形弁の歌姫）
 会場：高尾山石雲院（本堂）
 ☎坂部を愛する会（寺田） ☎0548-29-0453

10/21 **10/22** **SLフェスタin新金谷** **島田市**
 SLとのふれあえる、遊べる特別な2日間。秋の新金谷へ是非遊びに来てください。
 ☎島田市観光課 ☎0547-36-7163

10/下旬 **フードスマイルフェスティバル** **藤枝市**
 藤枝市市民体育館・武道館で「食」をテーマにイベント開催

10/28 **小川港さば祭り** **焼津市**
 焼きサバ1万食が無料で振舞われる

10/29 **高根白山神社古代神楽** **藤枝市**
 静岡県指定無形文化財・国の「記録選択文化財」に選定。
 太鼓・笛に合わせて、天狗面や戎子大黒の舞が奉納される

10/29 **第9回しまだ大井川マラソンinリバティ** **島田市**
 「舞台は大井川7時間の主人公はあなた」をテーマに、第9回しまだ大井川マラソンinリバティを開催します。当日は、「ふれあい交流イベント」や「しまだ乾杯タウン」も同時開催します。エントリーは終了しています。
 ☎島田市役所産業観光部観光課ニューツーリズム推進係 ☎0547-36-7399

11/3 **東海道岡部宿街道文化祭りいきいきまつり** **藤枝市**

11/3 **4** **静波 服織田神社祭典** **牧之原市**

11/3 **5** **お茶の香ロード** **藤枝市**
 藤枝市茶町・鬼岩寺・上伝馬周辺で「お茶」をテーマのイベント

11/11 **11/12** **島田産業まつり** **島田市**
 島田産業まつりは、島田市で生産される工業製品、地場産品、農産物の展示・販売・PRを通じて、地域産業を紹介し、市内の産業振興を図る目的で、昭和58年から開催されている歴史あるイベントです。
 会場：島田市おび通り（本通3・4丁目）
 ☎島田産業まつり実行委員会（島田市産業観光部商工課） ☎0547-36-7164

11/12 **第27回 藤田まさと先生を偲ぶ歌の祭典** **牧之原市**
 カラオケ大会
 会場：相良総合センターい〜ら ホール
 ☎藤田まさと先生を偲ぶ歌の祭典事務局（平岡） ☎090-1291-8995

11/中旬 **奥大井ふるさとまつり** **川根本町**
 大井川河川敷で名産物や特産物の青空市が開催され、各種レクリエーションやイベントも盛りだくさん。
 色鮮やかな紅葉を楽しみ、例年多くの人出で賑わう楽しいいっぱいのお祭りです。
 ☎川根本町まちづくり観光協会 ☎0547-59-2746

わが町探検

第9回しまだ大井川マラソンinリバティ

島田大井川マラソンinリバティは、今年で9回目の開催となります。島田市役所をスタートし、市街地を走り抜け、「リバティ」へと続くフラットなコース設定。ベテランランナーから女性、初心者まで多くの方が楽しめるコースです。当日は、ふれあい交流イベントやしまだ乾杯タウンを同時開催しており、ランナーの方も、応援に来る方も楽しいイベントです。

▶概要

開催日：平成29年10月29日（日）
種目：フルマラソン（42.195km）、10kmの部
アクセス：東海道本線島田駅下車徒歩8分、東名高速道路吉田ICから15分、新東名高速道路島田金谷ICから15分、飛行機を御利用の方は、富士山静岡空港から（就航先：新千歳・福岡・鹿児島・那覇）
H **P**：http://shimada-marathon.jp/
問合せ：0547-36-7399（しまだ大井川マラソンinリバティ実行委員会事務局）



災防日誌

災害防止への取り組み

「整理整頓」

日頃は、建災防安全パトロールにご理解とご協力いただいておりますことお礼申し上げます。各事業所が災害ゼロを念頭にご努力されていることで、昨年の死亡災害は全県・島田署管内とも過去最低水準であったようで嬉しい限りです。しかし、残念ながら今年は増加傾向にあるとお聞きしております。

パトロールの点検表の中に整理整頓という項目があります。私達が月1回現場を拝見させていただき気付くことは、一目見て整然されている現場は安全対策も行き届いているように思います。

労働災害で多いものに転倒災害があげられています。作業中・移動中に障害物や段差でつまずき、転倒する事の無いよう現場の整理整頓は必要不可欠なものであると思います。



さて、ここ数年で自動車の自動運転化はもとより建設機械もICT開発などハイテク化が目まぐるしく進み、生産性の向上や品質の確保が図れるようになってきております。こうした中、その技術を過信しすぎたり誤った操作により自動運転機能を搭載した車でも事故を起こしてしまった事例が報告されています。

事故は思わぬところで発生いたします。現場の危険箇所・不良箇所は、気付いたそのとき即是正していただきますようお願いいたします。

ヒューマンエラーのひとつに「人間は近道をしたい・面倒な手順を省略したい」など効率的に物事を進めようとする本能を持っているようですが、決められたことは遵守して初心に立ち返りヒューマンエラーを無くし「安全が最優先」で労働災害の絶滅を切に願っております。

K.T

土木技術者研修会を開催

土木・建築委員会は、島田土木事務所、焼津漁港管理事務所、御前崎港管理事務所及び志太榛原農林事務所との共催により、8月29日(火)に島田市金谷生きがいセンター夢づくり会館において、土木技術者研修会を開催し約180名が参加しました。

最初に静岡県中部危機管理局清水技監が、「静岡県の自然災害と危機管理」と題して講義を行い、続いて、静岡県中部家畜保健衛生所家畜衛生課中村班長が「鳥インフルエンザにおける埋却作業について」、そのほか(株)橋本組による工事事例紹介など、様々な話題を取り上げて研修会が行われました。



●理事会

- 第2回理事会 8月30日(水) 当協会
- ・70周年記念事業について
 - ・静岡県中部地域道路啓開検討会 道路啓開について
 - ・県建設業協会第4回理事会の概要(抜粋)について

●正副会長会議

- 第3回会議 8月30日(水) 当協会
- ・70周年記念事業について
 - ・静岡県との意見交換について
 - ・その他協会運営について

●広報委員会

- 第5回委員会 7月7日(金) 当協会
- ・広報誌Vol.153号の企画
- 第6回委員会 9月1日(金) 当協会
- ・広報誌Vol.153号の校正
- 第7回委員会 9月8日(金) 当協会
- ・広報誌Vol.153号の校正

●労務委員会

- 親子現場見学会の開催 8月4日(金)
- ・浜岡原子力発電所、掛川花鳥園

●土木・建築委員会

- インターンシップ(受け入れ)
- 7月24日(月)～26日(水)3日間
- ・島田工業高校生 30名
(都市工学科16名、建築科14名)
- 平成29年度静岡県交通基盤部優良建設工事等表彰(所長表彰)及び土木技術者研修の開催 8月29日(火)
- 島田市金谷生きがいセンター 夢づくり会館
- ・参加者 180名

- 大井川「川まつり」への参加
- ・8月2日(水) プラザおおるり
協会PR、笹船作り指導及び大井川の模型を使った遊び
参加者 397名

●環境・災害対策委員会

- 道路愛護運動への会員参加
- 6月27日(火)～8月17日(木) 管内全域
- 地震防災訓練
- ・情報伝達訓練 8月30日(水) 全会員
 - ・災害応急対策協力者の出動要請・応諾訓練
8月25日(金) 御前崎港管理事務所
8月31日(木) 島田土木事務所

- 鳥インフルエンザ関係
- ・埋却候補地の事前調査
9月7日(木) 藤枝市岡部町玉取

●建災防島田分会

- 島田地区労働災害防止大会
- 7月4日(火)
- 島田市金谷生きがいセンター 夢づくり会館
- 参加者 203人
- 安全パトロール
- ・第3回 7月20日(木) 5地区
 - ・第4回 8月22日(火) 5地区
 - ・第5回 9月14日(木) 5地区

史跡・田中城下屋敷

田中城の歴史は、今から500年ほど前、この地の土豪・一色氏がその居館を拡大したのに始まるといわれています。現在、市立西益津小学校の建つ位置がかつての本丸で、城は四重の堀に囲まれた、直径約600mの円形をしていました。江戸時代にはここに田中藩がおかれて、志太郡・益津郡の村々を治めていました。

この下屋敷は、六間川を挟んで田中城の南東端に接した位置にあります。ここは、一色氏やその後裔の古沢氏の居館跡だともいわれていますが、江戸時代後期には城主の別荘(下屋敷)がおかれ、築山、泉水、茶室などを設けて四季の草花を楽しみました。

この下屋敷跡を整備するにあたり、田中城ゆかりの建築物をここに移築、復元しました。田中城にあった建物は、明治4年の廃藩置県によって民間に払い下げられ、住宅や納屋などとして利用されましたが、永い年月の間に朽ち果て、現存するものはごくわずかです。移築された建物は、いずれも百数十年の星霜に耐えてきた貴重な文化財です。

